

新年度の主な新規事業・重点政策

- ★(仮称)高齢者活動支援センターの整備
シルバー人材センターの拠点を併の郷地内に整備
- ★集団検診の自己負担金を無料化
ひまわり健診の自己負担1,000円を無料に。
来年度は医療機関での個別健診も検診中
- ★地域コミュニティ活動事業補助金
170行政区に30万円補助
- ★市民病院腎センターの整備
- ★花と緑のぐんまづくり2013in伊勢崎
- ★ご当地ナンバーの導入
原付自転車などに独自のナンバープレート
- ★消防本部庁舎の整備
- ★消防救急無線のデジタル化
- ★あずまダストセンターの解体工事
- ★鉄道連続立体事業 駅周辺整備事業
秋に東武線高架が完成予定。新伊勢崎駅・伊勢崎駅南口が大きく整備されます。
- ★JR・東武高架下駐輪場の整備
- ★生涯学習施設の整備
境公民館建て替え設計、茂呂公民館増築
- ★市内24小学校に「英語科」を設置
- ★赤堀中学校の建設
- ★小・中学校のトイレの洋式化
小学校トイレの洋式化設計



高齢者にタクシー代補助

新年度、高齢者世帯で車に乗れない方に通院や社会参加を進めるため、タクシー代の一部補助制度(400円券×24枚)が実現しました。これは合併前の境町で行っていた事業ですが、合併で旧伊勢崎に合わせ障害者だけになっていました。

日本共産党議員団は、サービスは高い方に合わせるといふ合併の原則にそって、新市でも実施するよう求めてきました。



議員定数2議席削減 30議席に

議会改革特別委員会で「他市が削減している」「議員も身を切る必要がある」「少数精鋭で」などの理由で議員定数を2議席削減する事が決まりました。

少数になれば精鋭になる保障はありませんし、すでに合併で83人から32人まで減らし、周辺部から「市民の声が届きにくくなった」の声も出ています。議員も身を切ると市民サービスを切り捨てる方便にされたのではたまりません。

国の言うままに増税や社会保障の切りすてを推進する議員など、少なくともいいと思う市民がたくさんいる事は確かです。議会の役割を考えると市民の立場で市政をチェックし、暮らしを守る提案のできる、活発な議会への改革こそ求められているのではないのでしょうか。



しかし下増田予定地の別な用途が決まらない限り、次期建設時にはまた下増田も候補地の一つになります。完全に安心といつわけには行きませんが、引き続き前橋市の動向を注視していきたいと思えます。



前橋市が下増田に新清掃工場をつくる計画は、山本市長のもとで凍結、検討されてきました。この間皆さんと、環境省、前橋市長へ7千名の反対署名提出、県知事への意見書、公聴会などで計画地の見直しを訴えてきました。このほど前橋市長は、六供をはじめとした現有施設の改修をおこない、15年延命化し新設計画は中止することを正式発表しました。説明会では今後の新規建設時には前橋市全域から適地を探すことの回答でした。周辺住民を無視した前橋市のやり方にストップをかけることが出来ました。皆さんのご協力大変ありがとうございました。

下増田の新清掃工場白紙に

無料生活法律相談会

毎月第4月曜日午後6時より
市議会議員、弁護士が相談に応じます
お申し込みは

北島元雄 24-8410

090-4065-2120

波志江町3626

経済市民常任委員



長谷田公子 25-1130

070-5564-6271

八幡町44

文教福祉常任委員

